

平成 30 年度 第 3 回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会 場 平成 30 年 6 月 28 日（木）午後 7 時 00 分～9 時 00 分 市役所 202 会議室
出席者 長瀬議長、谷部副議長、西尾委員、稲垣委員、佐藤委員、松本委員、
二ノ宮リム委員、中村委員、吉村委員
欠席者 並木委員
事務局 伊藤社会教育課長、吉村社会教育係長、来住野社会教育主事
東京学芸大学社会教育実習生 2 名

1 開 会

＜配付資料＞

- 資料 1 アキシマクジラ特設ブース出展予定表
- 資料 2 全国社会教育委員連合の持続可能な発展のためのアンケート調査の実施について（依頼）
- 資料 3 （仮）市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習を推進するための社会教育の役割 建議

- ・昭島市月間行事予定表 7 月
- ・平成 30 年度青少年健全育成活動基本方針
- ・あきしまの青少年 No. 249
- ・あきしま公民館だより No. 186
- ・第 57 回企画展 化石動物園（群馬県立自然史博物館）

2 報 告

（1）平成 30 年度第 2 回小学生国内交流事業運営委員会について（6/7）

委 員 団長より、引率して下さる教員の方の紹介があった。応募状況は、昭島 18 名（男子 8 名女子 10 名）、岩泉 27 名とのことだ。7/7 に親子説明会を予定している。今年は開始時間が早まったことと、環境コミュニケーションセンターで電子顕微鏡の実習が行なわれることになった点がこれまでと異なる。電子顕微鏡の実習用に、岩泉町の「山のもの」「海のもの」1 点ずつ試料として送ってもらえるようお願いした。その他、工場見学をし、お昼に流しそうめんをいただく予定だ。ホームステイについてだが、今年は受け入れ不可世帯が少なかったと聞いている。

（2）アキシマクジラ特設ブースの出展について

※資料で日程等を確認

3 議 題

(1) 全国社会教育委員連合の持続可能な発展のためのアンケート調査の実施について(資料2)

議 長 東京都市町村社会教育委員連絡協議会を通じて、「全国社会教育委員連合の持続可能な発展のためのアンケート調査」の依頼があった。意見の取り扱いは、自治体ごとで回答するとなっていたので、資料のとおり回答案を作成した。さらに意見があれば、7/4までに事務局にお願いしたい。

(2) 建議「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習推進のための社会教育の役割(仮)」について(資料3)

議 長 素案を準備したので、これについてご意見等をお願いしたい。

委 員 目次4-1に視察研修、4-2にワークショップと入れた方がよい。

委 員 第3-1 評価の視点について、カテゴリーごとに分けるとよい。第3-3-2に呼応して、次の第3-3-3もその3つの視点についてわかるように書くのがいいのではと思うが、この内容ではなかなか難しいだろうと思われるのでこのままでよい。

第3-3-3(2)「生涯学習サポーター養成講座」はとても重要な事業だと思うが、この辺りの文章がわかりにくい。もう少し「どういう人が継続して関わっていて、どういう改正が必要か」などに触れられるとよい。

「社会教育・地域活動に携わる方々のための研修会」のところで「団体ごとのニーズを把握し、即効性のある内容にするなど工夫が必要」とあるが、そういった議論も確かにあったが、そこから「市民ニーズとは何か」という疑問が芽生え、結果、先日の「市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議」(以下、「あきしま会議」)につながったことが、社会教育委員会議としての一つの到達点となったわけなので、とても重要だ。単に表面的なニーズを把握して即効性のあるスキルアップなどだけではなく、活動されている方々が実際にやっていることの中から、その方々の活動をより広げていくということによって、結果的に市民ニーズにつながる、市民ニーズを掘り起こすことになった。表面に見えている市民ニーズに簡単に応えるのではなく、すでに活動している市民を応援することで市民により意義のある活動を広げていくことをめざした「あきしま会議」につながったということを強調したい。

その次の「団体活動ステップアップ研修」「中高年のためのパソコン講習会」は、定員を超えており、ニーズがあるというのも確かだが、社会教育委員会議として、表面的なニーズに応えることだけが大事だと思っているわけではないことをここで表現したい。

(6) 子ども育成課の事業「昭島市リーダーズクラブ」について参加者が少ない状況とあるが、中学校との部活動との兼ね合いがあり、中学生がこういう活動に参加しにくいということが強調されていたので記載したい。

議 長 ひたちなか市の研修について、もう少し詳しく書きたいと思っている。あきしま会議については、これから中身をしっかりと書き込んでいきたい。市民意識調査についても、生涯学習に関するところだけ、このような意識があるというところを書いてはどうかと

思っている。「捉える」「活かす」「つなげる」というキーワードを活かしたい。

委員 市民意識調査について、これをどう活かしていくかが非常に大切なことだと思う。検証方法の「どんな市民ニーズに見えるか」＝「捉える」、即している＝「活かす」、「つなげる」とことばを揃えて3つのカテゴリーで分けてみるのがよい。検証結果は、どうしても網羅的になるだろう。検証結果から言えることを引っ張ってくればよいが、整理するのは大変だと思う。そうすると、そのあとの取組みのところで、やはり検証結果の文言を使うにしても市民意識調査からひっぱってきて、3つのカテゴリーで生涯学習全体を大きな視点で書けるとよいのではないか。

議長 市民意識調査もあまり細かくない。

委員 今回は、後に入れていくのがわかりやすいと思う。

委員 「あきしま会議」の主催者として、これまで自分だけの世界しか知らなかったが、いろいろな人と関わっている人がいるということを知ったことは大きな成果だと思う。話を直接聞いて感銘を受けたから、その活動を実際に見てみたいと思う。チラシを見ただけだと興味を持たなかったかもしれない。直接会って聞いてみなければ、見てみたい、携わってみたいなどそこまで発展した気持ちにはならなかったと思った。

委員 うすうすは感じていたことだが、団体の孤立というものをすごく感じた。みんな一生懸命やっているのだが、団体としてまとまるようになると、孤立して悩みを団体の中で抱え込んでしまっているのだと思う。意外と何が邪魔しているのかわからないが、同じような活動団体との情報の交換ができていない。団体の孤立を防ぐために、団体の名刺交換会的なものがあるといいのではと感じた。活動している人はそれで満足なのかもしれないが、何かもったいない。

委員 私自身は、全然自分の知らない活動を知ったこととは大変良かったが、あのような場に集まって人前で話をするのが少しハードルになっているようにも思った。この間とは違った集まりもよいかもしれないと思った。

議長 企画側として、いろいろ練ったわけだが、人集めが大変だと思った。みなさんが参加者を連れてこなければ成立しなかったので、参加者を募ることが難しいとつくづく感じた。孤立感について、グループの中でも会の人が増えないという話も出ていたが、それを聞いて、特に会員が増えなくても、自分たちの発表の場が確保できるための手伝いができる人がいてくれればよいとも聞き取ることができた。特に人を増やしたいという話はなかったので、グループごとに交わる接点を求めてはいないのかなとも感じた。そういう人たちをつなげるつなげ方はどういう方法があるだろうか。「あきしま会議」に集まった時点できっかけはできたかと思うが、個人と個人、グループとグループ、グループと個人を、あえて望んでいないとしても、意図的につないでいこうというのが昭島市の生涯学習推進計画の目標なので、難しさも感じた。その部分の提案ができるとよいと思う。あきしま学びぶらんの概要版を見ると、

「生涯学習は『楽しい』ものであることが大切です。『学び』のもつ『楽しさ』を味わうことが『学び』の継続につながっていきます。

『学び』の『楽しさ』は、まず自身が自分の向上を実感できること、そして、手に

手を組んで協力することの楽しさを味わうこと、人と関わる活動が面白いと感じること、やりがいを感じることです。

『学び』の『楽しさ』から、だれもが心豊かで充実した生活を送り、それが地域の『きずな』や活性化への導きとなることこそ、本市で推進しようとしている生涯学習であるといえます。」とある。(あきしま学びぷらん(第2次昭島市生涯学習推進計画)概要版より)

市民ニーズとしては、学びが楽しく学べる、その機会を提供する、その先、意識していないところを意図的につないでいく仕組みづくりというのが今回の大きなテーマかと思っている。

委員 あえてつながりたくない人をなぜつなげるかというのは、結構大きなテーマだが、負担感になるつなぎ方は必要ではなく、人数が増えなくてもいい学びの場もきっとたくさんあり、それはそれでよいし、口コミでつなげることができるのであれば、いいことだと思う。それだけではなくて、こうことをやっている人がいることを、他の人に紹介したり、他の学びを生むことにつながりを活かしていく場面があるように思う。今あるものを大きくしていくことが目的ではない。

委員 市民の声を直接聞く場として、職員の参加もあるとよい。

議長 半年後位にまた開催してみたい。

議長 次回以降の予定を確認して、本日の会議は終了する。

次回

7月19日(木)	午後7時より	市役所205会議室
8月23日(木)	午後7時より	市役所202会議室
9月20日(木)	午後6時より	建議提出